

# 札幌市議団ニュース

2010年9月16日 No.17  
日本共産党市議団事務局発行  
電話 211-3221 FAX218-5124

## 受領委任払い、市住の住み替えなど7項目で

## 市議団が上田市長と懇談（15日）

9月15日（水）午後2時25分から約30分、第3回定例市議会（9/21～10/29）にむけ「市長との懇談会」が開催され、札幌市議団は5人全員が出席、限られた時間内にそれぞれ質問を行いました。

- 村上議員 介護保険の受領委任払い、市営住宅の住み替え
- 宮川議員 北1西1街区問題
- 伊藤議員 あったか応援資金
- 坂本議員 公契約条例の制定、市電の未来
- 井上議員 銭函風力発電問題

上田市長は「残された任期は少ないが、緊張感を持って市政執行に当たりたい」と決意を述べ、党議員の質問に一問一答形式で、一つひとつ丁寧に答えました。

介護保険で福祉用具の購入や住宅改修を行う場合、いったん全額を支払い、数ヵ月後の保険適用となる9割が還付される仕組みです。最初から1割だけを支払う**受領委任払いの即実施**（村上議員）を求めたのに対して、市長はシステム改修はたいしてかからないでしょうと同席した副市長に問いかけ、「中小企業の仕事も増えることだし、前向きに検討する」と答えました。また、**市営住宅の住み替えの促進**（村上議員）についても、「エレベーターの設置が追いついていない。他の棟への住み替えも含めて研究したい」と理解を示しました。

**あったか資金**（伊藤議員）の廃止後、「社会福祉協議会の応急援護資金が“借りにくい”とか“借りられない”などの声がある。冬場を前にぜひ改善を」と求めたのに対して、市長は「調べてみたい」と答えました。

市長の公約でもある**公契約条例の制定**（坂本議員）については、市長はいろいろクリアしなければならないことがあって悩ましいが、「精神条例ではダメなので、例えば労働3法が守られているかなどを効かし、守られていないところは次のときには外すといった実効性のあるものをと勉強はしている」と答えました。

その他、**北1西1街区問題**（宮川議員）、**健康被害**、**バードストライク**や**景観上の問題**が指摘されている**銭函風力発電問題**（井上議員）、**市電の未来**（坂本議員）についても、簡潔にその認識を示し応えました。

第3回定例市議会は21日（火）に開会し、27日（月）から代表質問が始まります。宮川潤幹事長が28日（火）午後2時半頃から日本共産党を代表して質問を行います。